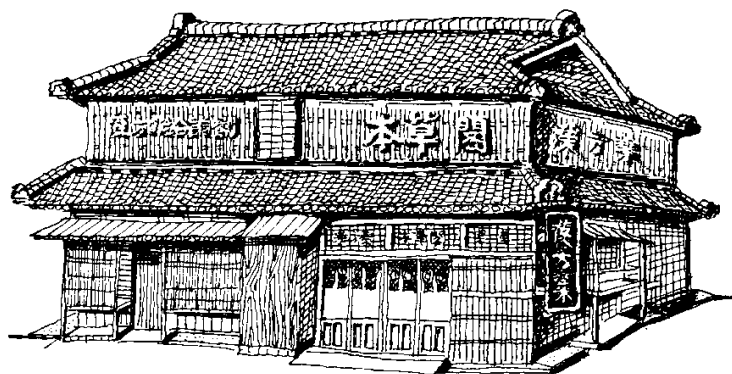


本草閣 かわら版

第53号

平成14年12月15日発行



漢方の本草閣 本店
名古屋市中区千代田5-21-17
(JR 鶴舞駅西)
JR中央線・地下鉄 鶴舞駅下車
TEL 052-241-3388
FAX 052-241-3443

<http://www.honsoukaku.co.jp/>
E-mail: kanpou@honsoukaku.co.jp

漢方の本草閣 緑店
名古屋市緑区上旭1-622
(滝の水公園西)
名鉄バス滝の水口下車 徒歩約5分
TEL 052-899-0221
FAX 052-899-0236

<http://www.honsoukaku.co.jp/>
E-mail: midori@honsoukaku.co.jp

健康食品問題の反省点

今年も残すところ一ヶ月弱になりました。色々な事が身の回り・日本国内・海外にて起こりました。健康に関しての事件としては、中国ダイエット健康茶（健康食品の中に新薬・ホルモン剤の入った製品）が大きな話題に上りました。

この件での反省は

1. 内容の分からない物は飲まない・食べない。
2. お年寄り・年配の経験豊富な人の意見を聞く。
3. 海外からの個人輸入は基本的に避ける。
4. 健康食品・サプリメント・食品の製品が多く商品化されていますが、内容の成分がはっきり確認出来ない物の服用は極力避ける。
5. 薬局で買い求める事。信用出来る、相手の事を心配してくれる店がいいと思われまます。ドンドン製品を勧める儲け主義の店は考えものです。
6. もし何か薬を飲むとすれば自然のもの（漢方薬・薬草）をお勧め致します。
7. 日本の風土に合った野菜を中心とした食事を心がけましょう。我々日本の先人が培ってきた「和」の食事をしたいものです。

昔の人の知恵には無駄のない自然に応じた情報・経験が一杯です。もっともっと先輩の知恵・経験を見習いましょう。

[文責 林 譽史朗]

第1回 かきどおし（連銭草）

今回より、一つずつ民間薬をピックアップして、その名前の由来や薬効を紹介します。

第1回は「かきどおし」です。

かきどおしの名前の由来は、茎が伸びて、垣根を通り抜けることから垣根通しと呼ばれ、それがつまって垣通しとなりました。連銭草は茎に対生する葉が丸く、葉縁に鋸歯がありますが、この葉が丸いことから銭に見立て、葉が茎に連続してついているのでその名があります。

採取の時期は全草を4～5月頃、花の咲いている時期に刈り取り、陰干しにします。

その薬効は、タラ根皮との併用で糖尿病によく用いられ、裏白樗との併用で腎臓結石や胆石の方にもお勧めです。その他小児の疳の虫、虚弱体質、利尿、消炎にも効果があります。

カサカサ肌、肌荒れにご用心

今年は、急に寒くなったこともあり、カサカサ肌でお困り方が多いようです。手の荒れ、かかとのガサガサ、顔のツツパリ、など人によってタイプは違うようですが、どのような方でも漢方では良い飲み薬・塗り薬があります。塗り薬としては、紫雲膏・へちまのローションの「露露（ろろ）」があります。まず露露をつけることのより潤いを与え、紫雲膏により保湿していただければ万全です。とくに紫雲膏は別名「潤肌膏」といい、皮膚を潤すための軟膏と言えるもので、ひび・あかぎれなどの乾燥肌や湿疹はもちろんです。切り傷・やけど・痔などの外科的疾患にも効果のある漢方の名薬です。漢方薬はタイプにより使い分けますが、日頃よりアトピーでお悩みの方のカサカサ肌には消風散・温清飲・荊芥蓮翹湯などを、体質改善の必要な方には加味逍遙散などを、血液の汚れによるカサツキには桂枝茯苓丸・桃核承気湯などを症状にあわせて服用します。一度店頭にてご相談ください。

本草閣薬局 年末年始のお休みのお知らせ

本店、緑店とも下記のように年末年始のお休みをいただきます。

平成14月12月30日（月）まで通常通りの営業

31日（火）は午後5時まで営業

平成15年1月1日（水）から5日（日）までお休み

6日（月）より仕事始め